

統計基礎講座のオンラインテキスト の活用

竹内光悦（実践女子大学）・末永勝征（鹿児島純心女子短期大学）
・渡辺美智子（慶應義塾大学）

はじめに、研究背景

- ▶ 高度情報化に伴う時代の変化
 - ▶ 「デジタルネイティブ」世代の学びの変化（松下、2012）
 - ▶ 生まれた時からデジタルメディアに囲まれて育ってきた世代
 - ▶ 端末保有率の増加（総務省、2017）
 - ▶ スマホ（71.8%）、タブレット端末（34.4%）
 - ▶ 若年層のスマートフォン利用者のネット利用時間は、平日 1 日あたり、10 代で 143 分、20 代で 129 分
 - ▶ オンライン授業の発展（MOOC、gacco）
 - ▶ デジタルコンテンツ、デジタル教科書の活用（文部科学省、2016）
 - ▶ デジタルコンテンツならではの動画や音声の活用
 - ▶ 九州大学での電子教科書の活用（アイティメディア、2016）

いつでも、どこでも、いくらでも、主体的に学べる

研究動機、研究目的

▶ 大学生の学びを変える

▶ 「主体的、対話的で深い学び」

- ▶ 卒業研究や調査実習をはじめ、自ら問題を見つけ、解決を目指し、人に伝えることができる力の育成

▶ 「反転授業の導入」

- ▶ 教科書などの見てわかるものは自分で自分の都合の良いときに学ぶ、大学では議論の場として、知識の定着、活用を実施



- ▶ 実際にこれらを実施するには学生の学習意欲が必須
- ▶ 全学的な動きがない限り、個人の動きは容易ではない



- ▶ スライドやデータなどを含む教材の電子版を作成
- ▶ LMS などを利用して学習記録が残る形での電子版の活用
- ▶ 大学における主体的な学びの環境を構築

教材開発

- ▶ 『石崎克也・渡辺美智子「身近な統計」、放送大学教育振興会』の内容を電子化
 - ▶ 「**持ち運べる授業**」を開発
 - ▶ テキスト、テキスト内のキーワード検索やペンでのメモ書き
 - ▶ 画面の拡大・縮小も可能
 - ▶ 関連の授業スライドや Excel のデータファイルをダウンロード可能
 - ▶ コンテンツの多くは、PC のみならず、スマートフォンやタブレット型端末でも利用可能
 - ▶ 学習確認ための練習問題およびその採点システムもあり
 - ▶ **場所や時間を問わない学びの環境構築**

LMS での授業資料の活用

- ▶ LMS（学習管理システム、Learning Management System）を使った学習管理
 - ▶ 発表者の大学では manaba（朝日ネット）を利用
 - ▶ LMS でできること
 - ▶ 電子資料の配布
 - ▶ 資料の閲覧時間の確認
 - ▶ ウェブテスト、ウェブアンケート
 - ▶ 電子資料の提出（レポート提出）
 - ▶ 情報の送信（ニュース、掲示板）
 - ▶ プロジェクトとして情報集約
 - ▶ 成績を学生へ伝達
- など

まとめ

- ▶ スライドやデータなどを含む教材の電子版を作成
- ▶ LMS などを利用して学習記録が残る形での電子版の活用
- ▶ 大学における主体的な学びの環境を構築

- ▶ 今後の予定
 - ▶ 紹介したデジタルコンテンツを LMS に副教材として含める場合の閲覧者の増加を目指した動き
 - ▶ （増やせない授業を踏まえ）電子的副教材の活用状況の実態調査とその分析、またこれらの学習効果の測定